

令和5年4月
一橋大学

令和5年度一橋大学一般選抜（前期日程）第2次試験

出題の意図等 【外国語（英語）】

I

長文読解問題。問題文は、人類史における肉食の意味、とりわけアメリカ史における牛肉の意味を述べたジャーナリズムの文章である。各設問は、英語を日本語へ翻訳する能力、段落の要旨を読み取り簡潔に表現する能力、全体の結論が離れた段落の内容を受けていることを理解する能力、文脈に応じた副詞を用いる能力、文脈に即して動詞を変化させる能力、単語を並べ替えて正しい英文を作る能力、空欄に入る単語を本文から探してくる能力、設問に関連する段落を探して内容を要約する能力、問題文全体の論旨に合った英文を選択する能力を、それぞれ問うものである。以下に、各設問の意図を具体的に述べる。

設問 1 の和訳問題は、名詞 (“hunter-gatherer”, “ancestor”, “settlement” など)、形容詞 (“permanent”), 動詞 (“raise”, “grow”, “drive out” など) の意味を正確に理解しているか、また、副詞句 “or else” が代替りの情報を並列する用法で使われていること、代動詞 “did” がどの一般動詞の代わりに使われているか (正解は “started ... settlements”) などを理解しているかを問う。

設問 2 の和訳問題は、代名詞 “those” が「人びと」を表し、続く形容詞句でどういう人びとかが説明されていること、成句 “so ... as to do” の意味、動詞 “control” を適切な日本語に訳せるか、また、“make do (with)” [=do with] の意味などに関する理解度を問う。

設問 3 の要約問題は、下線部(3)が含まれる段落全体の要旨 (アメリカ人の食べている牛肉が南北アメリカ大陸の植民地建設の結果もたらされたこと) を 80 字以内の日本語で述べる能力を問う。

設問 4 は、全体的な結論を述べた下線部(4)が、1 ページ以上離れた第 10 段落 (“For some” で始まる段落) の内容を受けていることを理解した上で、“it” が指すものと “go deep” という句の意味を把握して、下線部が表す内容を 30 字以内の日本語で述べる能力を問う。

設問 5 は、文脈に応じた副詞を用いる能力を問う設問で、空欄に入る 3 つの副詞の正しい組み合わせを選ばせる。正解は、「ロ」である。

設問 6 は、文脈に即して動詞を選び変化させる能力を問う設問で、3 つの空欄に入る動詞を 4 つの選択肢から選んで、それぞれ不規則変化の過去形に直させる。正解は、「D: fed E: lay F: led」である。

設問 7 は、アルファベット順に置かれた 10 個の英単語を並べ替えて正しい英文を作る能力を問う設問で、並べ替えた結果は “meatpackers are three times more likely than others to suffer”, したがって、正解は、「3 番目: three 8 番目: others」である。

設問 8 は、空欄に入る単語を本文中から探してくる能力を問う設問で、正解は、最後

の段落（“It’s as if”で始まる段落）に書かれている「sacrifice」である。

設問 9 は、設問に関連する段落を探して内容を要約する能力を問う設問で、第 4 段落（“Yet it wasn’t”で始まる段落）に書かれている、人類の知的能力が発達した理由に関する 2 つの説を、それぞれ 60 字以内の日本語で適切に要約することを求める。

設問 10 は、問題文全体の論旨に適合する英文を選択する能力を問う設問で、5 つの選択肢から 1 つを選ぶことを求める。正解は、「ホ」である。

II

自由英作文問題。写真で示された 3 点の絵画から 1 つを選択し、その絵が表現しているものを 100～140 語の英語で描写することを求める自由英作文の設問である。正確かつ多様な語彙を用いて叙述する能力 (language)、与えられた情報を分析し、能動的に考えて意味を発信する能力 (content)、適切な形式をもって論理的に文章を構成する能力 (organization)、の 3 つの能力を測る。

III

聞き取り・書き取り問題。基礎的な語彙の知識に支えられた全体的な内容理解力と、局所的な語句表現の聞き取り能力を合わせた、多面的なリスニング能力を測る設問である。

正解は、問題 A 「1 ハ 2 イ 3 イ 4 ハ 5 ニ 6 ロ」、問題 B 「1 ニ 2 ロ 3 ハ 4 ロ 5 ニ 6 ハ」である。